

市民の会が開く
10周年記念
シンポジウム

医療の良心を守る市民の会

<http://ryousin.web.fc2.com/>

ほんとうのことを知るの、なぜ難しい?

患者と医療者が
手をつなぐためにすべきこと

テーマ：「医療事故調査の現状と今後」

日時：平成28年6月26日(日) 13:30~16:45

会場：全水道会館 4階 大会議室

文京区本郷1-4-1

JR水道橋駅 東口(お茶の水駅より)下車2分

都営地下鉄三田線水道橋駅 A1出口1分

参加費：無料(カンパをお願いします)

定員：150名(事前登録優先)

交流会：近くの居酒屋 17:30~

1. シンポジウム

<シンポジスト：あいうえお順>

木村 壮介氏(日本医療安全調査機構 常務理事)

平子 哲夫氏(厚生労働省医政局総務課
医療安全推進室長)(予定)

薬師寺 みちよ氏(参議院議員)

<コーディネータ>

大熊 由紀子氏(国際医療福祉大学大学院教授)

2. パネルディスカッション

<パネリスト>

上記4名のほかに

木下 正一郎氏(弁護士)

永井 裕之(患者の視点で医療安全を考える
連絡協議会 代表)

主催：医療の良心を守る市民の会

<事前登録先&問い合わせ先>

E-mail: hnagai@max.hi-ho.ne.jp

Fax: 047(380)9806

〒279-0012 浦安市入船3-59-101 永井方

共催：

患者の視点で医療安全を考える連絡協議会

患者・家族と医療をつなぐNPO法人 架け橋

後援：

特定非営利活動法人 患者のための医療ネット

愛する人が
なぜ死んだのか、
わからないの?

医療裁判には、
限界があるの?

患者に
本当のことが
言えなくなってしまうの?

このままでは
患者と医療者が
歩み寄れない?

患者のためを思って行動した良心的な医療従事者を私たちは守り、物心両面で支えます